

日本エネルギー環境教育学会 2025 年度「特別シンポジウム」開催概要

◆日 時：令和 8 年（2026 年）2 月 28 日（土）12：50～16：30

◆会 場：日本科学未来館

日本科学未来館 7F 未来館ホール（東京都江東区青海 2-3-6）

（趣旨）

気候変動対策として、産業革命以前の平均気温に対して 1.5℃以内の温度上昇に留めること世界的に認知される中で、日本は 2050 年にカーボンニュートラル（CN）を実現することを表明しています。一方で AI といった情報技術が革新的に進歩する中で、Society5.0 の実現には電力需要をいかに効率化し削減するか、また安全性と安定供給を大前提としつつ、如何にして 3E を実現するかが大変重要な課題です。環境省が進める脱炭素先行地域も優れた取組みですが、個人、地域、企業、行政が一体となって、新たな社会を創造していくことが必要です。

これらの点は第 7 次エネルギー基本計画でも示されましたが、気候変動の対策も進めつつ低廉なエネルギーの安定供給を図るためには、多様な視点からリスクマネジメントをし、持続可能な社会を実現していくことが必要です。そこで今回は、資源エネルギー庁に基調講演として「第 7 次エネルギー基本計画を気候変動と事故・災害リスク対応の視点（仮）」から現状と課題を整理して頂きます。そして、「リスクから見たこれからのエネルギーと環境」についての理解や課題意識を持っていただくために、3 名の方にそれぞれの専門分野の視点からミニ講演を行って頂いたうえで、リスクマネジメントの視点を持った社会人を育成するための学校教育への役割・期待について議論を行って頂きます。

◆プログラム

1. 開会挨拶（12:50～13:00）

日本エネルギー環境教育学会会長 八田章光（高知工科大学副学長）

2. 講演・質疑応答（13:00-14:10）

「第 7 次エネルギー基本計画を気候変動と事故・災害リスク対応の視点（仮）」

森本 要 氏 経済産業省資源エネルギー庁長官官房調査広報室長

3. パネルディスカッション（14:15-16:30）

司会・ファシリテーター：藤本登 長崎大学教育学部

パネラー

①「気候変動のリスク分析から見た社会への影響」 東京大学 今田由紀子 氏

②「原子力発電のリスクマネジメント（仮）」

日本エヌ・ユー・エス株式会社 菅谷 淳子 氏（調整中）

③「福島原発事故とリスクコミュニケーション」 長崎大学 松永妃都美 氏

4. 閉会（16:30）

◆参加申込

会場参加； 申込 URL <https://forms.gle/uQnqaW39KXCfou2t5>（期間 2/4～2/24）

会場でも受け付けますが、事前申込にご協力願います（参加費無料）。

主 催： 日本エネルギー環境教育学会

後 援： 文部科学省 経済産業省 環境省

東京都教育委員会 長崎大学グローバルリスク研究センター

全国小学校社会科研究協議会 全国小学校理科研究協議会

全国中学校社会科教育研究会 全国中学校理科教育研究会

全日本中学校技術・家庭科研究会 電気新聞（予定）